

令和4年度

松江ウインタースクールで 大口町を訪問

12月10日(土)
11日(日)

松江市内の小学6年生19名が、1泊2日の日程で大口町・犬山城等を訪問しました。



大口町からは、8月に町内小学校6年生15名が松江市を訪問。松江城の見学や、伝統工芸の体験をおこないました。

松江市の小学生も当初は夏の訪問を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により冬に延期し、ようやく実現しました。

ウインタースクールの参加者は、名古屋空港到着後、大口町歴史民俗資料館を見学し、松江城を築いた武将堀尾吉晴や三英傑（信長・秀吉・家康）と大口町の関わりについて学びました。



それから、豊田学習等共同利用施設にて町長主催の昼食懇談会を開催しました。愛知県の名物「天むす」や「味噌カツ」などの入ったお弁当を用意し、温かい手作りのお味噌汁



でもてなし。参加児童は「大口町の風景は松江とどこか似ている」「川沿いに桜並木が続いているのを見て、桜のきれいな季節にきてみたい」と



大口町の印象を伝えてくれました。最後に、大口町の花「さくら」の木で制作した箸と町制60周年記念バッチを贈呈し、記念撮影をおこないま

した。

昼食懇談会が終わると、おおくち歴史愛好会の方から説明を受けながら、堀尾氏ゆかりの地である堀尾跡公園周辺を散策しました。その後、町内企業の工場を見学し、1日目の日程を終了。



2日目は、犬山城等を見学して、松江への帰途につきました。

今後も、いろいろな形で、子どもたちの姉妹都市交流が進んでいくことを期待します。